

**愛知県最大級の総合集出荷センター新設
県内初、全面空調・遮熱シートによる高温対策で鮮度維持
JAひまわり総合集出荷センターの竣工式を執り行います**



JAひまわり（豊川市／今泉秀哉組合長）は4月23日（火）に、新しく豊川市三上町に建設したJAひまわり総合集出荷センターの竣工式を執り行います。総合集出荷センターは花きと青果の総合集出荷施設として県内最大級です。また、市場から品質の高さに評価を受ける当産地にとって、近年の猛暑による夏場の高温対策が大きな課題となっており、県内の集出荷施設として初めて遮熱シートと全面空調を導入しました。さらに冷蔵設備の拡充により、さらなる農産物の鮮度・品質向上を図ります。

竣工式では、今後の発展を祈念する神事や関係者によるスピーチなどが行われる予定です。スケジュール等に関しましては下記にて詳細をご確認ください。

<当日のスケジュール>

10:00 竣工式

竣工式終了後 施設内見学・説明

JAひまわり役員、工事関係者の皆様につき、メディアの皆様にも施設内の見学・説明を行います。事前にご連絡いただければ駐車スペースをご案内します。

<総合集出荷センターの特徴>※期待される効果は次ページ

1. 花き・青果の一元集荷、複数ライン検査による効率的な集出荷体制
2. 出荷物・販売先データのQRコードを活用した自動分荷システム
3. タッチパネル方式による検査結果・配荷先の確定入力システム
4. 各出荷物の適温管理のための品目別・温度帯別冷蔵庫
5. 屋根の全面遮熱剤使用及び全面空調による夏期の高温対策

◇JAひまわり総合集出荷センター◇

所在地：豊川市三上町西河原100番地

敷地面積：25,919.23㎡

※この施設は「強い農業づくり総合支援交付金事業」による補助金の支援を受けています。



**JAひまわりは35周年
元気に咲きます！**

プレスリリースに関するお問合せ
JAひまわり 企画課 広報担当：加藤
TEL：0533-85-3171
(080-5100-0826)

<豊川市の農業について>

豊川市は愛知県下3位の農産物生産額を誇り、バラ、大葉、スプレーマム、トマト、イチゴなどを主体とする施設園芸が地域農業の中心的な役割を果たしています。中でもバラの生産量は日本一を誇っています。年間を通して日照時間が多く、温暖な気候と早くから灌漑設備が整備されたことで、施設園芸以外にも稲作、露地野菜、畜産など多種多様な農業がバランスよく発展した地域です。高品質な農産物の産地として市場から高い評価をいただいています。

<総合集出荷センターの期待される効果について>

- ・これまでの集出荷場よりもレーンを増設したことで、出荷物を受け取り、出荷先を確定させるまでの作業時間の短縮（バラの場合、1～2時間短縮の見込み）につながります。卸売市場への情報発信も早くなり、より有利な販売先が確保できます。
- ・スプレーマム、菊などは生産者が収穫後、出荷調整作業を行わずに、直接集出荷場へ持ち込み、「花ロボ」と呼ばれる自動選花機で結束・梱包を行います。これまでの作業が軽減され、出荷物の品質向上、数量増加につながります。
- ・空調機器の整備により、出荷物の劣化抑制と遮熱材により消費電力が軽減されます。
- ・花き・青果の集出荷の一元化による作業効率化と適切な人員整備、将来の生産コストが抑制されます。
- ・管理棟に設置される出荷者相互の交流スペースでは農業情報の共有が図れ、地域農業の発展に貢献します。

<強い農業づくり総合支援交付金について>

この補助事業は、産地の収益力強化と持続的な発展及び食品流通の合理化のため、強い農業づくりに必要な産地基幹施設、卸売市場施設の整備等に支援するものです（農林水産省 HP より）。

当JAの総合集出荷センター・総合集出荷センター管理棟は「令和5年度強い農業づくり総合支援交付金」の採択を受けています。補助率は事業費（土地、造成・外構、集出荷施設共用部分、管理棟は事業費から除く）の1/2、あわせて市より1/20の補助があります。